

戦略 ① 具体の取組み例
ごみ削減の取組み

ねらい

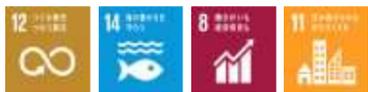
- 市民・事業者の協力のもと、ごみの分別、資源の回収・循環を拡大し、ごみを削減深刻化する海洋汚染の改善にも貢献



さらに

- 戦略 ②** コミュニティ回収の収益を地域に還元し、地域コミュニティを活性化
- 戦略 ④** 大阪市の廃棄物処理の技術・ノウハウを海外展開
- 戦略 ⑤** ごみ収集・処理コストを削減

SDGs のゴールとして



の達成に寄与

1 地域、市民、事業者との連携強化

公害や廃棄物問題を市民や事業者と共に克服してきた歴史や地域コミュニティ、優れた環境技術を有する企業の集積などの強みを活かし、市民に最も身近な総合的な行政主体として施策を展開

2 経済、社会、環境の統合的な向上

環境の課題と人口減少・高齢化等の社会的課題や経済的課題は相互に関連し、複雑化
環境面から対策を講じることにより、経済・社会の課題解決にも貢献すること、経済面・社会面から対策を講じることにより、環境の課題解決にも貢献することを追求

3 持続可能な新しい技術、イノベーションの創出・活用

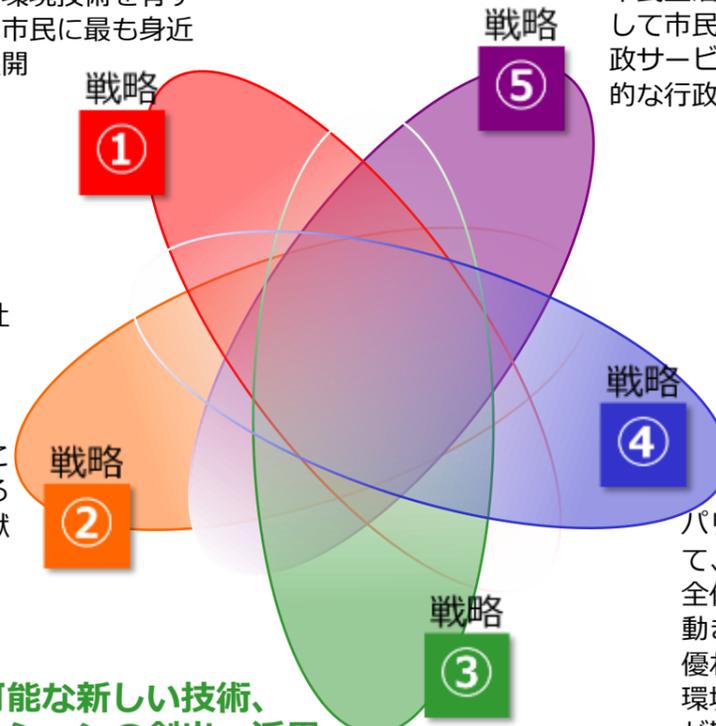
新しい技術やイノベーションは、環境問題の克服やコストの削減、経済発展を牽引する原動力
持続可能な新しい技術やイノベーションの実用化フィールドとなって開発や普及を促進

5 持続可能で効果的な行政運営

市民生活と直結する基礎的自治体として市民ニーズに的確に対応し、行政サービスの充実と、効率的・効果的な行政運営に努める

4 国際展開の強化 (グローバルパートナーシップ)

パリ協定や SDGs の採択を受けて、企業ではサプライチェーン全体で環境負荷を低減していく動きが加速
優れた環境技術の需要の拡大、環境ビジネスのグローバル展開が期待される
大阪が蓄積してきた技術、ノウハウ、ネットワークを活かし、「オール大阪」で国際的な環境協力、環境ビジネスを展開



戦略 ⑤ 具体の取組み例

家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン

ねらい

- ごみ収集輸送事業において、ICT の活用と体制の効率化によりコストを削減

家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン【H29～H31年度】	
「2つの柱」	
経費の削減	市民サービスの向上
平成28年度比で、 約10% (150名) の削減	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故発生件数の削減 平成26～28年度から3割減、45件以内 災害時の対応 環境事業センターが発災後の迅速・適切なごみ収集のコントロールタワーとして機能
▲6.2億円/年	

さらに

- 戦略 ②** 地域を熟知する環境事業センターが発災時のコントロールタワー、地域の見守り拠点としても機能
- 戦略 ①** 市民、地域の協力のもと、分別・資源循環を拡大

SDGs のゴールとして



の達成に寄与

戦略 ② 具体の取組み例
エコカーの普及促進

ねらい

- CO₂ 排出量削減による地球温暖化防止、排ガスの減少による大気環境改善・市民の健康増進、経済成長・雇用創出等を同時に追求



さらに

- 戦略 ①** 市民や事業者によるエコカーの導入を促進
- 戦略 ③** FCV の普及拡大により水素社会の実現を可能とする持続可能な新技術の開発・普及を促進

SDGs のゴールとして



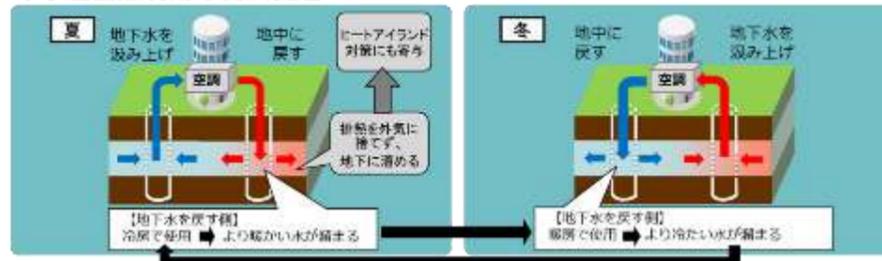
の達成に寄与

戦略 ③ 具体の取組み例
地中熱の導入促進

ねらい

- 大阪地域における地盤環境を活かした高セキュリティ、低コストの新たなエネルギーシステムを構築

帯水層蓄熱利用の普及促進



さらに

- 戦略 ②** CO₂ の削減、ヒートアイランド現象の緩和、エネルギー分野の産業振興を同時に追求
- 戦略 ①** 優れた技術をもつ事業者との連携によりイノベーションを創出

SDGs のゴールとして



の達成に寄与

戦略 ④ 具体の取組み例
Team OSAKA ネットワーク

ねらい

- オール大阪で、環境技術・環境ビジネスを国際展開し、途上国の環境課題解決と大阪・関西経済の活性化を図る

さらに

- 戦略 ①** 産官学の連携による国際展開
- 戦略 ②** 世界・途上国の環境課題解決と、大阪・関西経済の活性化を同時に追求
- 戦略 ③** 大阪が蓄積してきた技術・ノウハウを活用・普及

SDGs のゴールとして



の達成に寄与

二国間クレジット制度 (JCM) プロジェクトの実現例

